

ENGLISH CAMP

学習コンセプトと
プログラム開講のご案内



はじめに ～英語教育に対する課題意識～

広告やテレビCMでよく見る「外国人が教える英会話スクール」や「聞き流しているだけで英語ができるようになる教材」などの教育・学習方法では日本人が英語をできるようにはならないと感じるとともに、この国の英語教育がここ数十年間まったく良くなならないことに対する課題意識があります。

なぜ、電車の中で毎日のように英会話スクールの広告を見るのに、そして主要な駅の駅前には決まって英会話スクールがあるのに、英語が話せる日本人がこんなに少ないのか。

私自身は、地方公立の中学、高校のいわゆる「受験英語」で英語を学び、海外在住や留学経験は29歳になるまでゼロ。塾や予備校にも一切通わなかったのですが、自分なりの英語勉強法を確立し、上智大学の外国語学部英語学科に現役合格しました。

英語をまとめて勉強したのは大学受験までなのですが、そのとき蓄積した英語力一本で、総合商社で海外ビジネスに従事し、海外の大学院にMBA留学し、アメリカでパイロットの資格を取り、外資系のコンサルティング会社で海外プロジェクトを担当し、今は国内の大学院で英語で経営学を教えています。

自分も40歳を過ぎ、人生も後半戦。自分自身が良いと思う英語勉強法を周囲の人たちに伝えていくことが世の中への貢献になると思い、ENGLISH CAMPを始めることにしました。

楽しんで英語を学べる場ではありません。やる気ある方の受講をお待ちしています。

ENGLISH CAMP 代表 戸田 輝

本資料の目的

- ENGLISH CAMPの学習コンセプトを理解いただく
- ENGLISH CAMPの開講情報を提供する

お伝えしたいこと

1. 「英語を学ぶことで充実感、満足感、可能性と世界の広がりを得ることができる」
2. 「誰でも必ず英語は話せるようになる」
3. 「そのためには、正しい目的、目標、手段が必要」

質問

英語を学ぶときに重視したいのはどちらですか？

1. 英語を学ぶ「楽しさ」

2. 英語を話せるようになるという「結果」

ENGLISH CAMPは「結果」を重視します

ENGLISH CAMPの考え方

英語を学ぶことの本当の「楽しみ」は

先生との会話の楽しさにあるのではなく、

できないことができるようになる「成長」の中にある

最初はつらいかもしれませんが、
できるようになるにつれ、楽しくなります

英語を勉強するということの意味

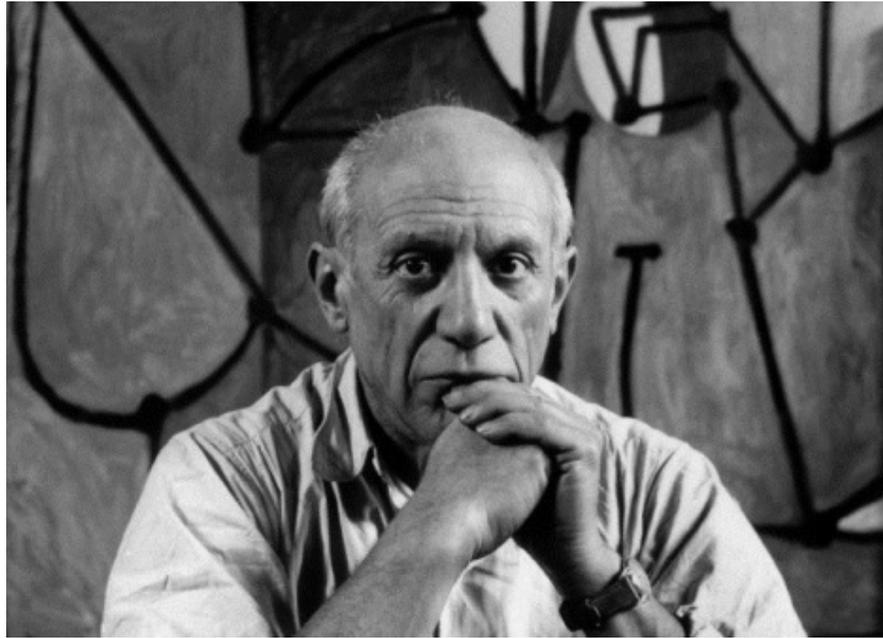
英語を勉強するということは、

英語を話すライフスタイルを選択すること

英語が話せる人に共通するライフスタイル

- ・ 楽しみながら成長を続けている
- ・ 充実感、満足感に溢れている
- ・ いつも可能性を感じて生きている
- ・ 前向き、外交的、好奇心旺盛、社交的
- ・ 海外によく出かけ、海外に大勢の友人がいる

ピカソの言葉



「できると思えばできる、できないと思えばできない。
これは、ゆるぎない絶対的な法則である。」

⇒英語が話せるか、話せないか
限界はあなたの頭の中にしかない

「英語ペラペラ」を目指さなくても大丈夫

国際ビジネス英語の現実

1. 英語のネイティブスピーカーは少数派
(大半は英語を第2言語として使っている人たち)
2. アジア人にもヨーロッパ人にも「なまり」はある
3. 難しい単語や「ネイティブっぽい言い回し」を言う必要はない。
速く話す必要もない。
4. 「英語の正しさ」も必要だが、「伝わる」ことが先。
さらには「伝えることの中身」が重要。

英語が話せない理由



日本人が英語を話せない理由

日本人が英語を話せないのはなぜだと思いますか？

日本人が英語を話せない理由

1. 自信がない

2. 単語や文法を知らない

3. 話す内容がない

ENGLISH CAMP 学習コンセプト

ENGLISH CAMPの学習コンセプトを
説明するために、3つの図をお見せします

これを使うと
英語を話せない理由がわかります
英語が話せるようになる勉強法がわかります

ENGLISH CAMP

学習コンセプト

図 1

図1：「考える順番」

目的

- 英語を勉強する「理由」
- 英語で「何を」したいのか

目標

- 目的達成のために到達したいレベル
- 読む、書く、聞く、話す、でどれくらいのレベルが必要なのか

手段

- 目標に到達するための勉強方法と勉強量
- 何を勉強すれば力がつくのか

勉強をするときは、目的⇒目標⇒手段、という順番で考える
多くの人が「教材を買う」「スクールに行く」など手段から始めてしまう

目的と目標と手段の例

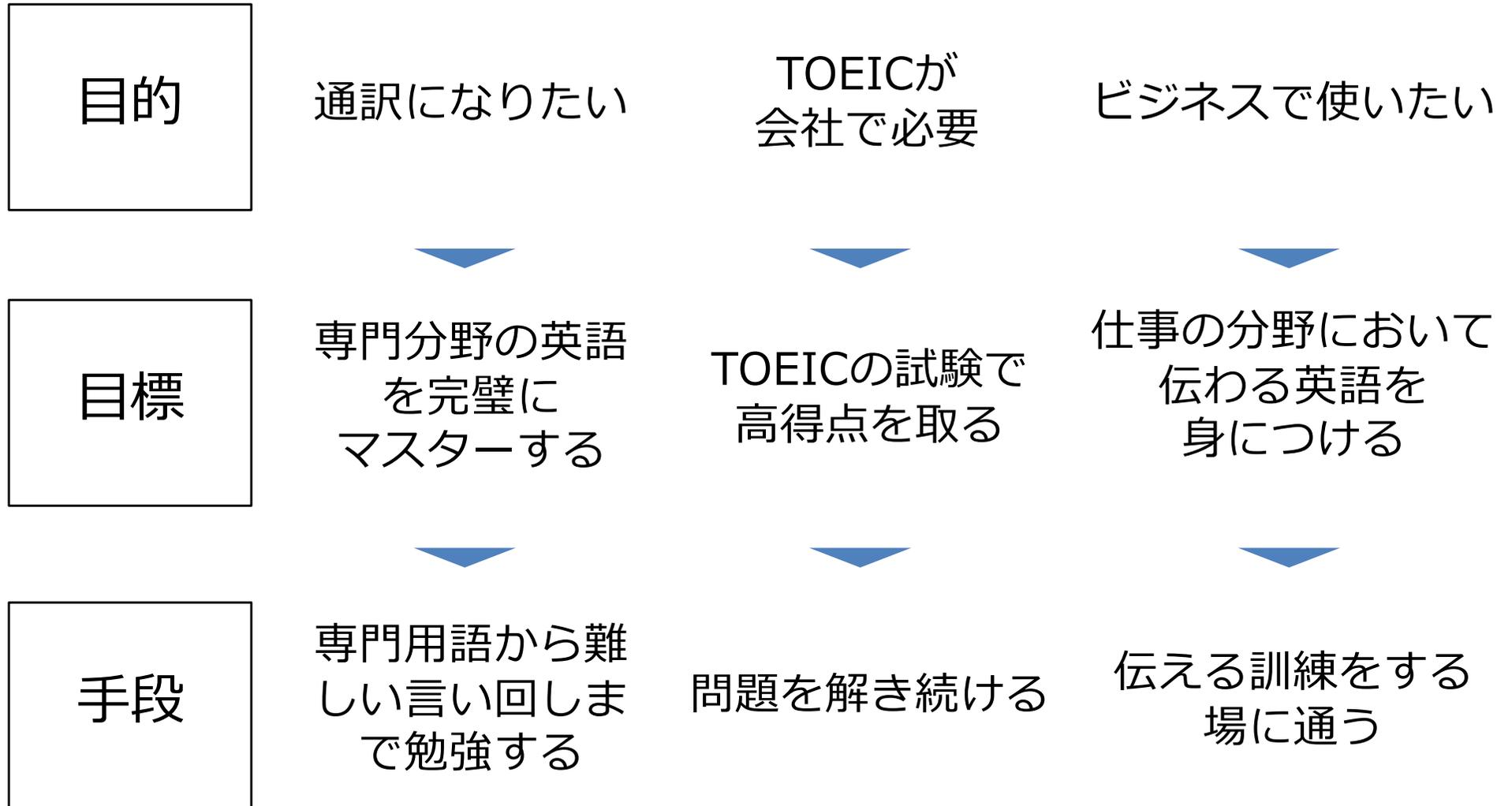


図 1 からわかる、英語の勉強法

1. 勉強する目的を明確にしよう

- なぜ、何をするために英語を学ぶのか
- モチベーションに火をつける
- 目的が決まると正しい目標ができる

2. 正しい目標を設定しよう

- 誰と、どの分野の話ができるようになりたいのか
- ペラペラになる必要はない
- 「自社製品を海外取引先にプレゼンして帰ってくる」
くらいまで具体化し、絞り込む
- 「30分のプレゼンができるようになったら海外出張の希望を出す」など「実践目標」を決める

3. 目標達成のための最適な手段（勉強法）を決めよう

⇒このあとの2つの図で説明します

(参考)

アジアのおじさん、おばさんは英語が話せるのか問題

アジアのみやげもの屋のおじさん、おばさんは、片言の英語で、すごい勢いで売り込み&価格交渉してきます。

彼ら彼女らは「英語が話せる」と言えるのでしょうか。



A : 正しさやトピックの広さで評価したら、
「英語が話せない」となる

B : 「みやげ物売る」という目的で評価すれば、
「英語が話せる」となる

どちらがより現実的な評価ですか？
あなたはどちらの考え方で自分を評価しますか？

ENGLISH CAMP

学習コンセプト

図 2

図2：「英語学習のプロセス」

Input

- 基礎的な単語を覚える
- 文法を覚える
- 目的に応じた専門分野の単語や言い回しを覚える

Think

- 話す内容
- 自分の意見・考え・理由を持つ
- スピーチ原稿を用意するように、自分が伝えたいことを用意しておく

Output

- お手本（スピーチなど）を決め、暗記し、真似する
- 自分が伝えたいことを暗記しておく
- 話す練習・伝える練習をする（毎日・何度も）

Input ⇒ Think ⇒ Output の全ての練習が必要

図2からわかる、英語の勉強法

1. 大量かつ意味のあるインプットをしよう

- わからない言葉があったらいつでも辞書で調べる
- 単語帳を一冊覚える
- 文法が不安なら復習する

2. 自分の意見を言う練習をしよう

- テーマを決め、1～2分のプレゼンを作る
- いつも結論と理由をセットで

3. 毎日アウトプットの練習をしよう

- 音読
- スピーチの暗唱と真似
- 上記で作ったプレゼンの練習

(参考)

学校教育で形成された日本人の根深いマインド

1. 正しくないと気がすまない

- 100点満点から間違っただけ減点されるという、「正しさを問われる」教育ばかりを受けてきた。
- だから間違っただけを言うことに対する異様な抵抗がある
- そして、「間違いを指摘してくれる先生」をありがたがる

2. 長く話さない（書かない）と気がすまない

- 宿題は「決められた量をやったか」で評価されてきた。
（例：読書感想文は原稿用紙で5枚など）
- これにより、「長く話しておけば（書いておけば）、とりあえず合格点はもらえる」という意識がある
- だから、意味のあることを短く言うより、長く話をする人が多い

ENGLISH CAMP

学習コンセプト

図 3

図 3 : 英語上達の方程式

ある分野における
英語の上達量

＝

勉強の量

×

勉強の質

×

絞り込み

脳を英語漬けにする

脳に負荷をかける

特定のトピック
だけ学習する

図3からわかる、英語の勉強法

1. 圧倒的な勉強量を確保しよう

- 週に1～2回英会話スクールでは足りない
- 1日の平均で2～3時間くらいは勉強したい

2. 脳に負荷をかけよう

- できないことを自己認識し、できるように直すという練習が必要
- 暗記で脳に負荷をかける

3. 勉強の対象を絞り込もう

- 分野を絞り、必要な単語や言い回しを覚える
- まずは「1時間のミーティングを乗り切る英語」くらいに特化して勉強してみる
- 正しい絞り込みをするためにも目的の明確化は必須

(参考)

「ラクに上達する」の売り文句に注意

「○○するだけで○○できるようになる」

「たった○○でできるようになる」

という売り文句につられてしまう人があまりにも多いです。

「好きな時間帯にレッスンを入れられる」もこれに近く、「いつでもできる」は、「いつになってもやらない」で終わりがちです。

楽な勉強法に飛びついて、結局身につかず、お金と時間を無駄にすることになります。

ENGLISH CAMPは1日3時間の勉強を最低でも1年は続けることを前提に設計しています。

(2ヶ月で勉強方法を覚え、あとは自学自習)

ENGLISH CAMP

仲間とともに学ぶ
2ヶ月間の英語トレーニングキャンプ

プログラム開講のご案内



ENGLISH CAMPの目的

「英語で日本人の可能性を広げる」

- ✓ 英語ができれば仕事や趣味が広がる
- ✓ 英語ができれば世界が広がる
- ✓ 英語ができれば人生の可能性が広がる

なんとなく英語がうまくなりたい、ではなく、
「英語を使いたい」という強い意志のある方を対象にします

ENGLISH CAMPのコンセプト

- 仲間とともに学ぶ
- 成長と充実感を楽しむ
- リアルな英語コミュニケーション力を鍛える

他スクールとの違い

	ENGLISH CAMP	通常の英会話スクール
やること	英語のプレゼンテーション 英語のディスカッション	英会話
スタンス	英語を訓練する	英語を教える
指導内容	何を勉強するか どれくらい勉強するか どれだけできるようになったか	正しい英語 正しい発音 知らなかった単語・言い回し
講師の 役割	トレーナー コーチ	先生

受講者が英語を訓練するのにサポートする場です

受講目標

全ての受講者が2ヶ月のプログラムで以下のことができるようになることを目指します。（実際にできるようになります）

- ✓ 自分自身のトピックに関して、プレゼンテーションを作成・発表・議論ができるようになる
- ✓ 英語のスピーチ（10分～15分）を1本以上暗唱する
- ✓ 基礎的な単語帳（3000語）を1冊暗記する

どんな人に向いているのか

こんな方に向いています

- 英会話スクールに通ったのに話せるようにならなかった方
- 学校英語だけで英語が話せるようにならなかった方
- 仕事で英語を使う方、すでに使っているけどレベルを上げたい方
- 海外駐在、海外出張、留学を控えている方
- 伝わる英語コミュニケーションの力を訓練したい方
- 2ヶ月間、自習時間を確保できる方（1日1～1.5時間）

受講者のレベル

- 英語初心者～中級者（上級者でビジネス英語を学びたい方も）
- 大学受験レベルの英語学習経験のある方
- TOEIC400点代～800点代くらい
- 英語が得意な方が来ているわけではありません
- レベルは幅広いです。理由は次ページ

英語のレベルが幅広い理由

- 実際に英語を使うどんなシーンにおいても、英語のレベル分けがされている状況はない。例えば、仕事で英語の会議があっても、ネイティブからあまり話せない人まで一緒に話すのが普通。なぜ英語スクールだけレベル分けをするのか。
- 「英語が上手い人と一緒だと話すのが不安・恥ずかしい」というマインドを取り除かない限り、いつまでたっても話せるようにならない。
- 英語がある程度できる人も、できない人の気持ちを理解することが異文化の場に出て行った際に役に立つ

受講形式

- 通学クラス（～20名）
- 様々な業種から集まるクラスメートとともに、切磋琢磨しながら学びます。

内容

- 単語の習得（3000語）
- スピーチの暗唱
- プレゼンテーションの作成と発表
- 英語でのディスカッション

ENGLISH CAMPの学習方針

1. 用意された教材ではなく、自分のビジネスや自分の考えについて話をします
2. 大量の宿題を出すことで、2ヶ月間脳を英語漬けにします
3. クラスではプレゼンテーションとディスカッションでアウトプットの間数を踏みます
4. 正しさよりも、実際に使えるようになることを重視します
(英語の一つ一つを正しい表現に訂正したりなどしません)
5. ネイティブ外国人の講師ではなく、「英語を第2言語として習得した経験のあるプロフェッショナル」が講師となります

ENGLISH CAMPで得られるもの

1. 仕事や生活で使える英語コミュニケーション力
(自信、文法・単語、話す内容)
2. プレゼンテーション力 (日本語でのプレゼン力もあがります)
3. 修了後も継続学習するための勉強方法、勉強の習慣
4. 30分のプレゼンテーション資料
(自身が英語で作成したパワーポイント)
5. 一緒に学ぶ仲間、仲間からの刺激

クラス詳細

開講予定のクラスはこちらからご覧ください。

<https://www.englishcamp.jp/class>

受講者の声

受講者のプロフィール

過去の受講者はこんな人たちです

- 外資系ソフトウェアメーカーの営業
 - デザイン会社の社長
 - 大手人材紹介会社の営業
 - 放射線技師
 - システムエンジニア
 - 大手電機メーカーの管理職
 - ワインの輸入会社の営業
 - 商社の秘書
 - ブランドコンサルティング会社の社長
 - グローバルな機械部品商社の人事
- など

実績

受講者に起こった変化

“以前は聞き取れなかったCNNの英語ニュースが聞き取れるようになった”

“単語を覚えることにこんなに効果があるとは思わなかった”

“英語で文章を組み立てるスピードが受講前から格段に上がった”

“道に困っている外国人に声をかけることができた”

“上司に海外ビジネスに興味があることを伝えたら、海外の展示会に出張してよいと言われた”

“この歳になって、こんなに勉強させられるのが新鮮”

受講者の声

受講者の声を読んでいただくのがこの英語塾を理解するための最も早い方法だと思います。少し長いですが、ぜひご覧になってください。

(佐野 彰彦さん、株式会社それからデザイン 代表 ブランドデザイナー／ウェブデザイナー、男性)
いわゆる「使える英語」はロジックで理解することよりも、トレーニングをすることが重要だと以前より感じていました。その点で、まず、英語を毎日少しずつでもトレーニングするという習慣ができたことが一番良かったです。仕事が忙しいときなどでも、移動時間や待ち時間などの「隙間」を上手く活用すれば意外と時間は確保できるものと気づきました。スピーチや単語を覚えることは、はじめは大変に感じましたが、2週間続けると精神的にも慣れてきて少しずつですが自分の成長が楽しく感じるようになりました。

語彙力やスピーチ力等、一歩ずつではありますが、確実に成果が出たなと実感いたしました。最終日のプレゼンテーションでは、「英語で自分の意思を伝えることができている」という感触を得ることができました。

ビジネスに限らず、スポーツや芸術の世界でも、これから日本のあらゆる活動は、グローバルな視点を持つことが当たり前になっていくと思います。私の現状の日々の仕事では、英語を使う機会はあまりないのですが、私の所属するデザイン業界も世界中のデザイナーやクリエイターと情報交換をしていく必要があると感じています。今回のクラスで英語を学んだことで、日本の優れている点、海外の優れている点を感度高くキャッチし、コミュニケーションをしていくためには継続して英語を学んでいきたいです。

副産物的によかったことですが、英語でプレゼンテーションを作成することで、自分のビジネスそのものを見直すことができました。日本語だと回りくどい説明になりがちのところ、英語で説明すると必然的にシンプルな思考と表現にまとまっていく感触がありました。これは自分の英語が堪能でないためにより平易な言葉を選ぶということと、英語という言葉そのものがシンプルな構造であるために、(日本語のような中庸的な表現も含めた)言葉を尽くすことができず、「いい意味で」自分のプレゼンテーションを削ぎ落とすことができた感じでした。これは自分でも想像していなかった効果でした。

受講者の声

(Yさん、商社勤務、女性)

①学習はいつでもどこでもできる

受講にあたり、通勤時間や昼休み、休日の自由時間などのまとまった時間を英語学習に充てるということもですが、歩きながらやお風呂に入りながら、電車を待ちながら等の、ながら時間もスピーチの復習や単語の暗記に充てました。受講前まで時間のある程度作って集中して勉強しない限り、成果に繋がらないと思っていましたが、不思議なことに隙間時間の方が集中力が高くなり、机に向かって学習するときより暗記系の学習には向いているように感じました。最後のクラスから約3週間経ちましたが、隙間時間や、ながら時間にむやみにSNSやインターネットを見漁ったりするのではなく、英語学習やその他の勉強をして過ごすようになりました。隙間時間の悪しき習慣をこの2ヶ月で断ち切り、新しい習慣が出来たというのは自分にとって大きな進歩だと思っています。

②学習内容に合った方法で毎日続ければ成果は出る

3つの課題の中で一番苦手だったのがスピーチでした。英語学習を通じて、今まで出会ったことのない表現や単語が多くちりばめられた文章を、1分間話者と同じスピードで話すというのがとても難しく感じ、最初はうまくできませんでした。他の受講生の方々が行っている暗記方法を参考に、1日1パラグラフごとに毎日覚え、一度間違えたら最初に戻って暗唱するようになってからは、1回に覚える量が減ったことと、何度も繰り返し暗記することで記憶が定着するようになりました。最終的には自分がここまで覚えたいと思った目標のところまで暗記することができたので、毎日コツコツやれば成果に繋がるという小さな達成感と今後の学習意欲の向上にも繋がりました。

③その他、独学では得られない良かったこと

英語で発言をする際、上手く説明できないときに先生が他の単語でわかりやすく言い換えて表現したり、説明して下さいました。またセンテンスをできるだけ短くわかりやすくする表現するという方法も、独学では気づけなかった部分であり、今後の課題になりました。また私は上手く英語の文章を組み立てられないので、他の受講生の皆様の単語の使い方や説明の仕方を聞く機会が多くあったのも大きな魅力の1つでした。プレゼンでは、職業や年齢も違う受講生の方々の考えや意見を聞いたことも、毎週の授業の楽しみであり、新たな発見と学びがたくさん詰まったとても貴重な時間でした。

受講者の声

(Sさん、商社勤務、女性)

「この方法を信じてやっていけば大丈夫なのだと思う勉強方法を教えて頂いたことまた、モチベーションの高い受講者に囲まれ刺激を受けることが出来ました。

大変だったのは、仕事やストレスを言い訳に勉強時間を確保しないこともあり、自分の弱さとイヤでも向き合ったこと。自分以外の方が興味を持って聞いていただける内容かどうか悩んだためプレゼンテーションのテーマ決めに関時間がかり、英語になかなか取り掛かれなかったことです。

単語については、出来た・出来てないがハッキリと分かるので成長を感じられました。スピーチは、当初絶対覚えられないと思いましたが、何度もやっていくうちに覚えられるようになりました。ただ、覚えづらい箇所や、途中で詰まるところもあるので、今後も継続していこうと思います。話す内容や英語に関する自信については、いまだに変化を感じられませんが、単語の蓄積やスピーチで覚えたフレーズもあるので、それらを意識して使っていこうと考えてます。

机に向かわなければ勉強できないのは単なる思い込みで、いつでもどこでも出来ること・隙間時間の使い方は時間が増えたような錯覚がおき、今後の人生にとって大きな収穫でした。皆さんのモチベーションの高さを見て、何かを言い訳にして「諦める」「やらない」ことは、やめようと思うようになりました。

「人と比べないこと」を毎回先生がおっしゃってくれたおかげで、ドロップアウトせず済みました。また皆さんの雰囲気もすごく良かったので、出来ないながらも授業が終わると「来てよかったな」と思えました。人前でのプレゼンは初めてで、人前に立つとこんなに緊張し恥ずかしさがこみあげ小さな声になる等、改善すべき点がいろいろと見えてきました。普段の生活ではこのような機会はなかなかないので貴重な経験になりました。

この英語塾に出会えて本当に感謝してます。ありがとうございました。」

受講者の声

(Iさん、商社勤務、女性)

英語を学びたい背景は違えど、学びたい意欲の高い人たちの集まりだったので非常にモチベーション高く学べました。特に語学は個人の習熟度が違うとわかりつつ、つい人と比べてしまいがちですが、先生が何度も自分がどれだけコミットできたか、他の人がどれだけ勉強しているか、をみるようにとおっしゃっていたので、安心して自分の勉強に集中できました。

この英語塾を一言でいうなら、「英語学習のブートキャンプ」です。大変だけど確実に自分の筋肉がついている気がします。そしてみんな最後まで乗り切ったからこそ得られる達成感！

大変だったこと： 単語帳やスピーチの覚え方のコツがつかめず、最初はかなり手探りでした。特にスピーチははじめての勉強法だったのでつらかったです。授業を通して他の人の勉強方法からも学ぶことができました。

自身の変化： 暗記したボキャブラリーを会話やプレゼンで使用しようという意識が出てきました。なんとなく、ではなく「暗記」したので使えるようになったのだと思います。一度ネイティブのスピーチをまねてスピード感を実感できたので（難しいという意味で）隙間時間にスピーチを練習するようにしてます（会社の首からかけているIDカードにしのばせて時折みております）

受講者の声

(Yさん、外資系ソフトウェア企業 営業職、男性)

英語が苦手な人、それなりにやる気があったり、もしくはやらざるを得ない人、でも所謂英会話教室を始めとした既存の英語学習システムで出来るようになる気がしない人、、、。それが私なのですが、同じ様な方いらっしゃるかと思います。講座修了時点で目を見張るほどの成果ができました！とは正直かけません。でも努力の方向性なり、当たり前の話として、やっぱちゃんとやらなきゃ上達しないよね、という心構えは付きました。

そんなHESの特長は以下ではないかと思えます。

「英語力の比較はしない、というルールがあります。一応そういう建前なので英語ができない私もあなたも参加し易いです。」

「努力を求められます。努力をせずに英語ができるようになる、そんな都合のいい事はない！そう伝え続けられます。そして先生は終始さらりとハードルを上げます。しかも物凄い笑顔で。」

「学習の足りない週もあるでしょう。でも、皆その恥ずかしさもありながら参加するのです。自分の努力が足りない事を味わう場になります。それで翌週は頑張れます。」

「そんな恥を分かち合うので、結果、いい友人・仲間になりそうな気がしています。ありがたいことです。」

受講者の声

(Kさん、コンサルティング会社勤務、男性)

「やったことには後悔しないが、やらなかったことには後悔する」という気持ちでこの英語塾に申し込みました。

最大の成果は「いつでも、どこでも、英語学習はできる」ということが認識できたことです。最寄り駅までの通勤時間、電車を待っている間の隙間時間、ちょっとした時間でも工夫次第でいくらでも英語の学習時間に変換できることがわかりました。2ヶ月間では英語を習得することは難しいです。しかし、継続的に学習するためのノウハウをこの学習塾で得ることができました。

私が一番変化を感じたのは、スピーチです。著名人のスピーチ内容を暗記し、本人と同じ発音、スピードでリピートできるようにするのですが、毎回なかなか覚えられず、レッスンの日を迎えるのが憂鬱でした。しかし、続けていくうちに次第に話せるようになり、最後には10ページ近く、時間にして10分程度を何も見ずに話せるようになりました。また、実際のスピーチを題材にしているため、自身のプレゼンテーションの際にも使えるフレーズがいくつもあり、大いに活用することができました。

受講者の声

(遠藤政城さん、IT企業勤務、男性)

何よりもスピーチの暗唱が大変有意義でした。スピーチの暗唱を達成すると、使用されている単語や言い回しは先ず忘れませんし、英語のリズム（センテンスの中で強調されやすい単語と弱形になりやすい単語、スピード感、一呼吸で読み切るまとまり）がインストールされます。最終プレゼンの骨子を組んだ後、細かい表現を詰める際には、その殆どをスピーチにヒントを得たと言っても過言ではありません（ストーリーの場面を頭の中でイメージしていると、自然とスピーチに根差した表現が浮かび上がってくるのです）。結果として、辞書的に作成した文章ではなく、ネイティブが使用する言い回しを軸にプレゼンテーションを構成できたため、聞き手の頭に入りやすいものになったと考えています。

一方で、自身で立てた目標を達成させることが大変でした。毎週、勉強目標を立てるのですが、翌週のクラスで達成度を詳細に確認されることはないのです、ある意味、目標を達成できていなくとも、その場は凌げてしまいます。ただし、最終プレゼンの日程は決まっており、その完成に向けては単語学習とスピーチ暗唱が欠かせない（単語・スピーチへの取り組みが不十分でもプレゼンは作成できるが、成長は全くできないし、それがクラスメイトにも露わになる）ため、毎週の目標設定&達成度は厳密でないものの、最終的にはゴールまで達成する必要があります。

私の場合は目標を達成できなかった週が何回かあったため、全てをクリアさせるための追い込みに大変苦労することになりました。

10分を超えるスピーチを暗記できること、ネイティブの発話スピードについていけることへの自信がつかれました。暗唱できるようになった内容は即自分の表現に活かせるので、英語の味方が増えた気分です。勉強が思うように進んでいなくて休みたい気持ちになったこともありましたが、とても気持ちの良いクラスメイトと一緒に取り組めたので、クラスに参加してしまえば楽しい時間となりました。2か月間ありがとうございました。

最後に

- 英語を話すライフスタイルを選択しませんか？
- いつ始めますか？
- 一人で始めるのは大変、続けるのはもっと大変です。
よかったら、一緒に勉強しませんか？

クラス詳細

開講予定のクラスはこちらからご覧ください。

<https://www.englishcamp.jp/class>